

特定非営利活動法人

わっか



子どもたちに、
安心できる場を

わっか 活動報告 2023

目次



居場所づくり事業



出会いと学びを
育む事業



その他

P04

古民家開放

P10

若者との関わり

P12

ご寄付など

P07

放課後児童クラブ

P11

講演・視察など

P09

waccafe

はじめに

わっかをはじめて10年以上が経ち、これまでの活動を振り返ることが増えました。本当に、いろいろな出会い、そして別れもありました。米原の子どものために、目の前の若者のために、がんばってやってきたつもりですが、本当に何かできたかどうかは自信がありません。少しでも、子ども達や若者のためになっていたらいいなと思っています。

今はもっぱら、さかっこクラブ（学童保育）の事業に尽力しています。クラブには、生きづらさを抱えた若者が働きに来てくれたり、近所の子が遊びに来てくれるようになっています。さかっこクラブも7年目を迎え、地域の中で、自然と人が集まる場所になりつつあります。今、わっかは、米原市の中で、古民家の居場所づくり、クラブでの居場所づくりの二本柱を中心とした活動がメインになっています。それぞれの場所に集う人、子ども達にとって意味のある場所として、場を提供できるように努力し続けたいと思います。それこそ、子ども達が大きくなっても集える場所であるといいなと思っています。

ここまで子ども達と温めてきた居場所としての“わっか”を大切にしながら、ぼちぼち、細く長く活動を続けていけたらと考えています。

子どもたちが、自由にすごせて、できるなら安心してすごせる場になればと古民家を開放しています。でも、自由でも安心でもなくても、いられる場所であればいいとも最近思うようになってきました。子どもたちがどのように思うのか、ボクにはどうすることもできないなあと思うのです。

ボクにできるのは、安心できる場になればとその可能性があるように古民家を開けることです。安心できる場になるには、できるだけ毎日あけること、そこにいつでも同じ人がいる、そこでは自分の思いが大事にされる、そんなことが大事なのかなと思います。

そして、参加無料で開けることも大事です。お金が必要であれば来れなくなる子どもたちがいます。そして、子どもたちが無料で集うには寄付での応援が必要です。2023年度も、みなさまのご寄付や助成金によって、活動ができたこと本当にありがたいです。

子どもたちがこんなことを言っていました。どうして、こういう活動をしているの？って。あらためて考えてみるとボクには、これといった理由がありません。きている子どもたちが理由のようなものをそれぞれ感じていただけたらいいなと思うのです。

代表理事 柳生のび

古民家を開けている人 振角大祐

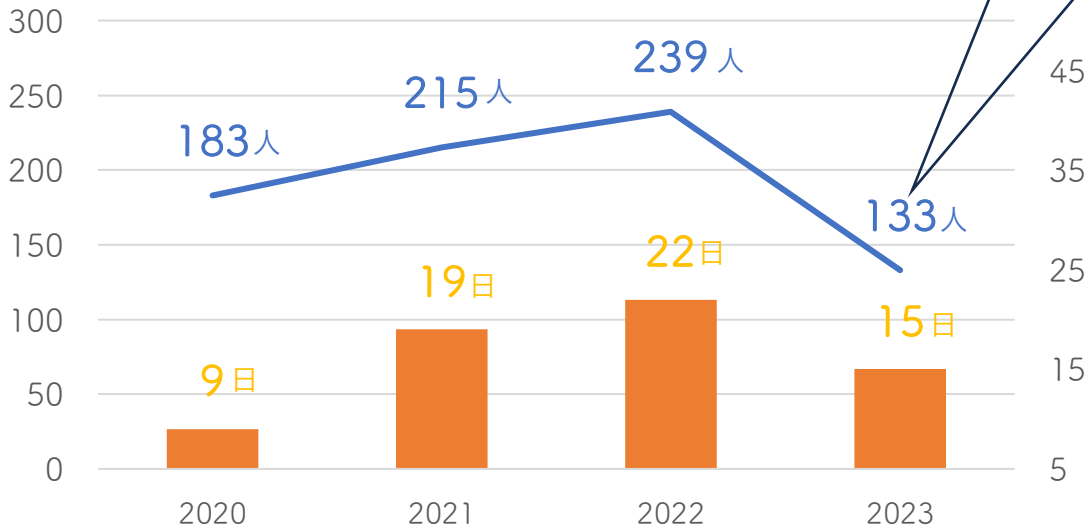
古民家開放

日曜日の人数と、開けていた日数

開けている時間：第2、4（日） 10:00 ～ 15:00 昼御飯あり

こども 114人

おとな 19人

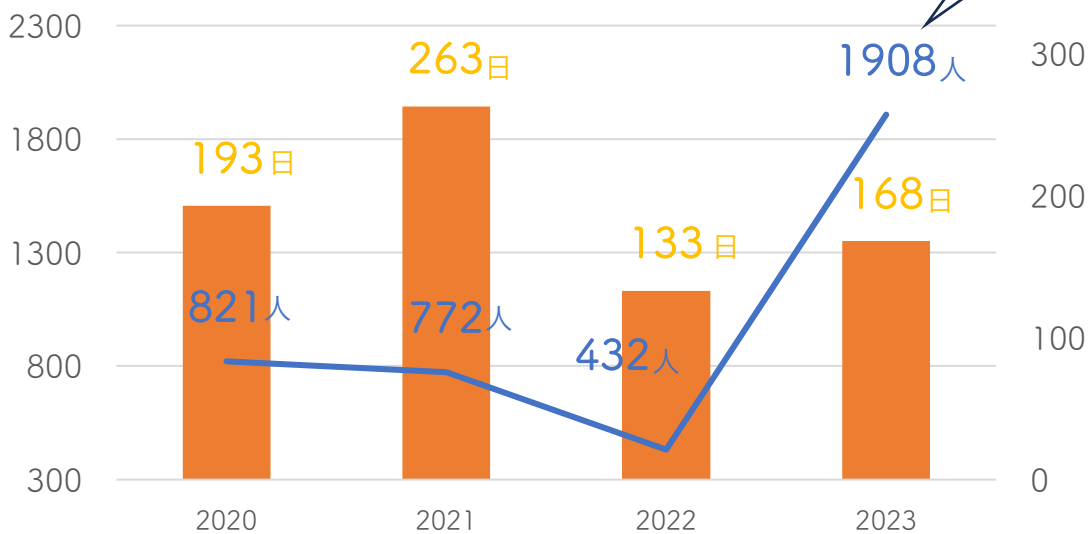


平日の人数と、開けていた日数

開けている時間：できるだけ毎週（月）～（木）13:00～17:00
（金）16:00～20:00 晩御飯あり

こども 1700人

おとな 208人





古民家開放【古民家で実施した企画費用も含む】
(WAM助成、お茶の間創造支援事業、赤い羽根共同募金、平和堂商品券活用)

給与手当（古民家）	501,800 円
印刷製本費（チラシ印刷、年次報告書）	24,904 円
通信費（ネット使用料、郵送代、携帯使用料）	108,480 円
消耗品費（漫画、台所などの備品、わっかサロン企画の経費）	295,500 円
原材料費（こども食堂、お泊まり会企画）	70,341 円
光熱水費（古民家わっか、シェルターハウス）	163,821 円
家賃（古民家わっか、シェルターハウス）	640,000 円
手数料（振込手数料）	13,145 円
合 計	1,817,991 円



コロナ禍以降、なかなか開けていても子どもたちがやってこなかったのが、春休み前から急に集うようになりました。まず、やってきたのは、小学生にあがる前の子でした。保育園を卒園してから空いた時間に、古民家にやってくるようになりました。

4月になると、小学生たちがやってきます、保育園の頃に保護者と一緒にやってきていた子がいるグループだったり、3km 近く離れたところから自転車でやってくる子、しばらくしてから以前に月曜日によく来ていたんだよ、とあとで教えてくれることもありました。

そんな彼らが、夏休みに暑くて遊ぶところがないと言ってくれたので、夏休みは予定したよりも早い時間から開けて、暑い時間は古民家ですごしてくれました。そこですごしていた子たち

は中学生になっても、よくやってきます。

昼間にやってくる大人もいます。どういう理由でやってくるのかも名前もわざわざ聞きませんが、時間がたつと教えてくれる方もいます。そんな話を聞いていると、どうにも生きづらい社会だなあと感じます。それは、子どもたちもです。彼らも「愚痴言ったわ」といろんなことを喋っています。習い事に疲れていること、宿題のこと、学校のこと。そういうものを、遊んでいる時、遊び終わってぼーっとしている時にぼろっとしゃべります。

ぼくにできるのは、ここを開けて一緒にすごすことです。一見それだけに見えますが、それを大意にしていきたいと思います。

(文責：振角大祐)

さかっこクラブ 放課後児童クラブ

登録人数

スタッフ

日数

年間**79**人 長期**60**人 合計**139**人

11人（長期**15**人）

290日

さかっこクラブ （米原市からの委託料を活用）

給料手当（正社員 5 名、パート 6 名、短期パート数名）	26,094,111 円
法定福利費（正社員 5 名）	2,352,719 円
通勤費（全スタッフ）	897,270 円
保険料（スタッフ用スポーツ保険）	42,100 円
福利厚生費（スタッフ）	167,002 円
謝金（子ども向け企画）	180,000 円
旅費交通費（子ども向け企画の移動費）	247,240 円
通信費（携帯電話 2 台、郵送代）	172,704 円
消耗品費（原材料費、医薬品、施設備品、清掃用具、玩具、プリンター インクなど）	3,089,752 円
水道光熱費（専用施設にかかる費用）	1,017,793 円
研修費（スタッフ向け外部講師による研修）	336,820 円
支払手数料（振込手数料、メーリングシステム代など）	152,535 円
広告宣伝費（スタッフ求人）	1,598,168 円
リース料（防犯カメラ、サーバー利用料など）	1,218,360 円
その他（エアコンクリーニング代など）	317,100 円
合計	37,883,674 円





桜の蕾がちらほらと見え始める3月のある日。

「ご卒業おめでとう！」と小学校の体育館に校長先生の声が響いています。さかっこクラブを立ち上げた時、1年生だった子どもたちは6年生となって胸を張り、卒業証書を受け取っています。コロナ禍が明け、来賓として招いていただき、この大切な瞬間を見守ることができました。

思い返せば、10数名の子どもたちと小学校の空き教室でスタートしたさかっこクラブ。その後は学校のクラス編成変更で、空き教室移動による引越し、利用児童増大に伴う新施設への引越しなど2度の引越し。そして新型コロナウイルス蔓延防止による様々な行事の縮小など。このような状況だった6年間。窮屈な思いをさせたかもしれませんが、それでも通い続けてくれた事に感謝の気持ちでいっぱいではありません。

子どもの「いま」の気持ちに100%答えること、寄り添うことはとても難しく、大人の事情で断らないといけないことも多々あります。でも、それを蔑ろにせず、答えられないとわかっていながら

も、どうするのが良いか、真摯に向き合ってきたことが伝わっていたからなのかもしれません。

毎日、子どもたちは家庭や学校で色々なことを経験し、楽しい思いや時には苦い思いを抱えながらさかっこクラブにやってきます。そんな子どもたちの小さな発信を見逃さないよう、よく観察し

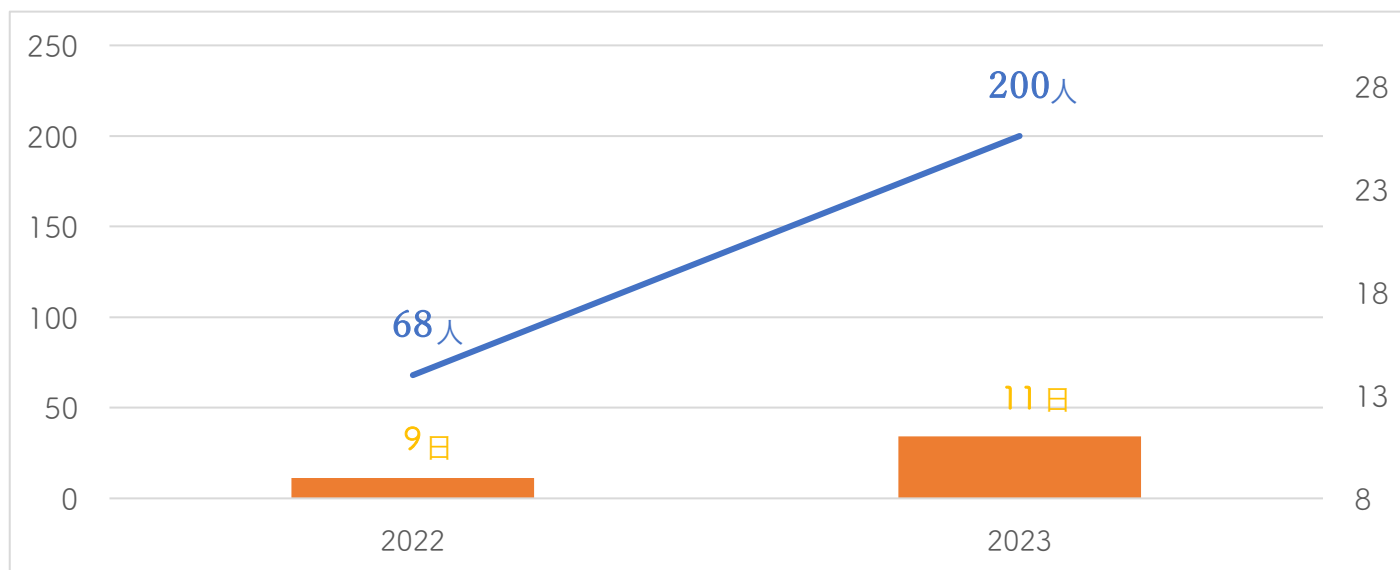
（その発信はおしゃべりだけでなく、ありとあらゆる方法があります）、「あ～、今日は楽しかった」と思ってもらえたら大満足。「うん、まあまあ日だったな」「あんまり良いことなかったけど、明日は良いことあるかもな」と思ってもらえるよう、日々の保育に向き合っています。

満開の桜と春風が吹く4月になり、新1年生や新規利用でさらに利用人数が増えました！てんやわんやな毎日ですが、今日もさかっこの子どもたちは元気いっぱいです。

（文責 青木明香）

Waccafe わっかサロン

毎月1回 10:00~12:00



スタッフ 5名（高校生、地域のおばあちゃん、おじいちゃん）

2022年6月から始めて、丸2年を迎えようとしています。参加者の平均年齢85歳以上で、人数は毎回10名を超える方が、わっかに来てくださっています。おやつは全国各地の銘菓をチョイスして、お茶やコーヒーとともに一服してもらっています。アクティビティとして、毎月楽しんでいただけるレクリエーションを考えて実施しています。また、今年は、詩人の方に作詞を、音楽教師の方に作曲をいただき、サロンの歌が誕生しました。サロンの始めと終わりにみんなで歌っています。歌詞にある『月に一度の楽しいサロン』は、月に一度だからこそ、みんなでできること、楽しいことがあるのではないかと、ありのままの様子が歌詞全体に表れているように感じています。歌詞に負けない良い雰囲気これからもサロンを続けていけたらと思っています。（文責:西村）



若者との関わり

若者との関わり

消耗品費（食材費、生活消耗品）	57,667 円
旅費交通費（若者の送迎代、電車代など）	39,100 円
手数料（レンタルDVD）	360 円
合 計	97,127 円

今年度も継続で、他県の中学生の支援をしています。保護者さん同意の下、毎月1週間スタッフ宅で預かり、食事などの生活支援を行っています。中学校卒業を視野に入れ、将来に向けての人生設計などについて保護者さんを交えて本人と話し合いを行いました。なるべく本人の希望通りの将来が歩めるよう、保護者さんのフォローも含め、生活・自立支援を進めています。（文責：青木明香）

ポケカ大会 回数 6 回 人数 56 人

今年から、わっかに来ている中学生の子と一緒にポケモンカード大会を開催しました。2023 年の 5 月・9 月・11 月、2024 年の 2 月に合わせて 4 回開催しました。誰でも気軽に参加できる大会をコンセプトに、初心者からポケモンカードを普段から楽しんでいる方、いわゆるガチ勢まで多くの方が参加してくれました。毎回アンケートにもご協力いただき、大会によりよくするために参考にしています。今後も、ぼちぼちと開催していきたいと思います。（文責：西村）

お泊まり会

古民家わっかにちょくちょく来てくれていた子が突然「わっかに泊まりたい」と言い出したことがきっかけで、プチお泊まり会をすることになりました。

言ってくれた子も含めて 6 名の参加がありました。

小学生から高校生まで幅広いメンバーが集まりました。

ご飯を作って、みんなで遊んで、みんなで寝て、

たっぷりお泊まり会を楽しんでもらいました。

その子は、早速「次はいつやるの？またやりたい！」と言っています。（文責：柳生のび）



講演

回数 1回

11月23日13:30 ～ 16:30

岐阜県子ども支援ネットワーク形成研修



「子どもの居場所」の多様な姿
遊べる場・食べられる場・ダラダラできる場
というテーマで講演しました。活動で大事にしている、なんでもない時間を重ねることについてお話しいたしました。（文責：振角）

視察・ボランティア受入れ

虎姫高校生徒 1名、米原高校生徒 3名

ともに、授業の一環として活動について質問などをさせていただきました。



情報発信（フォロワー）

子ども、若者、古民家で集う人たちとのなんでもない日々を SNS で発信しています。発信を通じて、古民家にきてくれる人、活動を応援してくださる方がいます。（2024 年 5 月 1 日現在）括弧内は昨年度



1,175人(1,139人)



218人(199人)



204人(150人)

わっかへのご寄付

NPO 法人化とともに活動資金を寄付で賄うことを目指して、寄付での活動資金確保にむけて動いています。引き続き活動を応援していただく方と出会うため、古民家をあげ、そこでの日々を発信していきます。

正会員

15人

賛助会員

4人

マンスリーサポーター

28人

都度寄付

8人

総金額 689,680円

支えてくださった企業・団体（敬称略）

米原市	独立行政法人 福祉医療機構	タノシニア合同会社
社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会	社会福祉法人 米原市社会福祉協議会	紙eco
マコトヤ		

団体名

特定非営利活動法人 わっか

住所

〒521-0012 滋賀県米原市米原 178-5

電話

070-1803-1059（代表）

メール

wacca235@gmail.com

ホームページ

<https://npo-wacca.org>

Facebook



アカウント名 わっか

X



アカウント名 @NpoWacca

Instagram



アカウント名 @npo_wacca